

2015年7月24日

株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

鈴鹿8耐前夜祭『風を感じて』タンデム走行にボランティア参加 ～CSR・ESG 活動の意義を自ら経験して金融市場を活性化～

株式会社フィスコ(東京本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「当社」)は、この度、連結子会社である株式会社ネクスグループ(本社:岩手県花巻市、代表取締役社長:秋山 司、以下、「ネクスグループ」)とともに、ボランティア団体「風の会」が開催する鈴鹿サーキットでの障害者タンデム走行にボランティアとして参加いたします。

【風の会とは】

風の会とは、主に2輪プロライダーで構成されるボランティア団体です。主な活動内容として、毎年、鈴鹿8時間耐久ロードレース(通称「鈴鹿8耐」)の決勝が行われる前日に現役・OBの2輪プロライダーが集まり、障害者の方をパッセンジャーシートに乗せて鈴鹿サーキット本コースをタンデム走行しております。2002年に活動を開始してから、今年で14回目を数えます。

風の会の活動開始のきっかけは、代表である元ロードレースライダーの水谷勝氏が、テストコースでのバイク体験走行イベントにおいて、参加者の友人で見学をしていた車椅子の方に声を掛けて、バイクの後ろに乗せて走行したことにあります。タンデム走行中、バイクがコーナーを曲がる度に、動かないはずのその方の足から、力が入って締め付ける動きを水谷氏は感じました。水谷氏は、「もしかしたら、バイクの後ろに乗せて走行することはリハビリの一環になるのかもしれない」と思い、風の会の活動を本格的に開始しました。風の会の活動には、「バイクに憧れていても、普段は障害が原因で夢叶わぬ人達に対して、バイクの「風」の素晴らしさをタンデムランで実感してもらい、彼らの夢を現実に変えていきたい」という思いが根底にあります。



【風の会に参加する意義】

ネクスグループは、昨年「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」を結成し、鈴鹿8時間耐久レースへ参戦いたしました。

その意図は、主力分野である M2M 製品の1つとしておこなっている、オートバイ用 GPS データロガー端末(バイクの様々な情報を収集する端末)の開発にあたって、試作機のテスト運用やデータ収集・解析をするためと、ネクスグループが重視する「和をもってチーム力で勝つ」という日本文化や日本企業の精神で、日本文化の象徴であるオートバイで行われる日本最大の耐久ロードレースを応援するためです。

また、「Team WINNER Z-TECH & NCXX Group」のライダーである國松俊樹は、以前より風の会の思いに共感して、協賛ライダーとして参加しております。

当社および当社子会社である株式会社フィスコ IR(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐藤元紀、「以下、フィスコ IR」)は、上場企業を中心に、CSR レポート(企業の社会的責任の考え方に基いて行う取組みをまとめた報告書)の制作を支援しています。企業の社会的課題に対して解決に貢献する取組みは、CSR(企業の社会的責任)活動や ESG(環境・社会・ガバナンス)活動と呼ばれ、企業の品格(品質)を判断するための重要な1つの要素です。当社では、上場企業の CSR・ESG 活動に対するレポート制作の支援することによって、より効率的な資本市場を形成する一助になると考えております。

このたび当社として、CSR・ESG 活動の意義や価値を自ら経験して理解すべく、ネクスグループとともに、風の会の活動にボランティアとして参加し、障害者の方の乗車や、その他サポートを行います。本活動で、CSR・ESG 活動の意義や価値への理解を深めることで、上場企業の CSR・ESG 活動への当社の支援サービスの質を向上させ、効率的な資本市場の形成に貢献してまいります。



出発前の様子



News Release

【株式会社フィスコの概要】

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号
設立日： 1995 年 05 月 15 日
資本金： 1,208 百万円(2014 年 12 月 31 日現在)
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

以上